

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2013年 3月 20日

<p>テーマ名</p>	<p>スマホ&タブレットの企業活動利用のあり方とITCに求められていること</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC千葉ネットワーク</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>http://www.itc-chiba.net/</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名)近藤正人 電話番号:080-4354-0380 e-mail:ma.kondo@tejjin.co.jp</p>	<p>(ITC千葉テーマ研究幹事)近藤正人 電話番号:080-4354-0380 e-mail:ma.kondo@tejjin.co.jp</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>本テーマの特徴はコンシューマ用途で急速に広がっているスマートフォンおよびタブレットについて、メンバー各自が日頃の業務を遂行する中で企業活動へ活用できないかをITCの視点を交え考察し、各々の考えや知見をグループメンバーで共有し、各々のフィールドでの実応用や新たなビジネス創生の機会を検証していったものである。</p> <p>本研究は、当初は全員が分担して全体を俯瞰しながら深堀してゆく事を想定していたが、メンバー各位の興味対象が多岐に渡り、また個々のテーマに十分な検討をできないと判断して、当年度は、以下のフィールドについてフォーカスして主担当を決めて成果物を纏る事にした。</p> <p>企業にとって、その形態や規模の大小に関わらず、最重要課題の生産性向上は往々にして、単にコストダウンや人員削減、時間短縮などが強調される。もちろん、これらも大事であるが、もっと大事な事は、顧客から圧倒的な支持される付加価値を提供できるサービスやプロダクトを作り出す事であるはず。スマートデバイスの活用を考えるにあたって、顧客視点・準備調査・業務の革新・組織の革新・技術の革新・経営の革新の視点で「使えるか」から始まって、「ビジネスモデル」を生み出す可能性までフェーズから次の6つをサブテーマとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務スタイルが変わるのか？ ・スマートデバイスの導入検討課題 ・地域産業の活性化に向けた活用事例の考察 ・テレワーク専門家としての見解 ・ITCとして身に着きたい視点 ・新たな「モバイル」の活用 	
<p>成果物</p>	<p>テーマ研究・調査活動報告書 「スマホ&タブレットの企業活動利用のあり方とITCに求められていること」 (2013年3月20日) ITコーディネータ千葉ネットワーク・テーマ研究会・第2チーム <研究メンバー>:近藤 正人 徳永 雅彦 信田 良雄 堀田 一博 飛田 宏紀 吉川 治雄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務スタイルが変わるのか？ ・スマートデバイスの導入検討課題 ・地域産業の活性化に向けた活用事例の考察 ・テレワーク専門家としての見解 ・ITCとして身に着きたい視点 ・新たな「モバイル」の活用 	

<p>事務局受付日</p>	<p>2013.03.18</p>
<p>案件番号</p>	<p>S12004</p>